

ΔΥΝΑΜΙΣ

No.11

1991.10.1

FOOD FOR THOUGHT

MICHAEL CALMANO

論文の作業が行き詰まる度に近隣の古本屋へ出掛け、両手に「いつか役に立つだろう」本で一杯になった紙袋を提げて帰って来るといふ私の行動様式に気づいた友人は、スヌーピーの漫画の書いてあるしおりをくださった。ダンスしているポーズでいかにも楽しそうに一冊の本を掲げているスヌーピーの言葉が私の慰めになるだろうと思っていたようだ："Books are food for thought - and anything that has to do with food must be good." ずっと聖書（「人はパンだけで生きるのではない」とか、「我らの日用の糧を今日我に与えたまえ」とか、キリスト教の聖典でありながら、やっぱり食べ物に拘わる本）に挟まったこのしおりを卒論の為に山ほどの本を読まざるを得なくなった学生にあげたが、スヌーピーの教訓は私の頭から離れない。

Books are food for thought — 図書館がスーパー・マーケットだったら、毎日買物に行き、おいしい料理を作って、どんどん食べればいい。GEMMAの初期画面のメニューで思い切って「1」=「ALL」を選んで、洋書と和書の両方を同時に検索してみればいい。読書と食欲の秋なので、腹一杯に栄養があるものを吸収してもいいし、余り食べる気にならないときにはグルメ志向の贅沢な組み合わせでもいい。いつもの家庭料理で飽きたら、外食で冒険してみればいい — 南山大学以外には図書館がないという訳ではない。

「納豆（うに、塩辛、他）は食べられますか」と聞かれたときに「大好きですよ」と答えれば「変な外人」と言われるのはしかたがないかもしれないが、「本を読んで勉強するのは楽しい」と

いう若者は「変な大学生」だろうか？

しかし、食べ放題にもそれなりの危険が伴う。消化不良の可能性を別な問題にして、健康的で、バランスのとれた食事に気を遣っても、定期的に運動しなければ効果はあがらない。食べ過ぎたら、太ってしまう — 「本の読み過ぎ」はどうなるのだろうか？

確かに、「本」というものは考える人にとって視野を広げる糧にはなるが、thoughtがない所には普通の量でも直ぐに過食症の兆しが表れる。

「子曰、学而不思則罔、思而不学則殆」 — 学んでも考えなければものごとははっきりしない。考えても学ばなければ独断におちいって危険である。

図書館の本棚の空白を本で埋めるのは、時間とお金の問題に過ぎない。その本が多くの利用者の批判的、創造的な考えを支える糧（"food for independent thought"）になることは私の願いだ。

（文学部助教授）



《文庫訪問》

愛知芸術文化センター

愛知県図書館

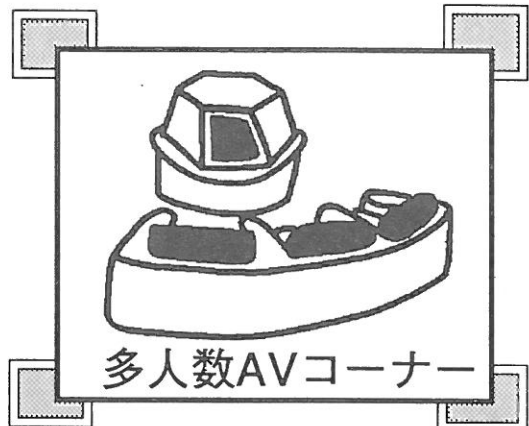
AICHI PREFECTURAL LIBRARY

名古屋城の近く、静かな三の丸の官庁街の中、今年の4月19日にOPENしたばかりの愛知芸術文化センター・愛知県図書館を今回尋ねた。

5階建ての建物を正面に見るとなんと立派な姿。以前の県立図書館を知っている人であれば、なお一層立派になった姿に驚くはずである。驚嘆し、大きい局面の窓の児童図書室（ここは、天井にステンドグラス、ビデオが2台、また児童図書研究資料が揃っている）を右に見ながら入口を入って見ると、そこには2階まで吹き抜けの広いエントランスホールが広がっていた。各階とも書架があり、天井が低く息苦しく感じるということで、このエントランスホールは、広く高く造ってあるということであるが、一瞬どこかのホテルのロビーと間違えてしまいそうなくらい、広々として奇麗であった。

この広々とした一階は手前に喫茶コーナを、奥にAV・マイクロ室を見て、ブラウジングコーナーや貸出カウンターがあるが、早速今回お目当ての一つ、新聞にも載っていた検索システムを見ることにした。これは東京都立中央図書館のシステムを利用しているという事だが、8台の検索端末を利用している人を見ると、小学生のグループや白髪混じりの老人など、あまりこういった類の機械には縁のない人まで楽しそうに利用していた。少々驚きながらも覗いて見ると、普段使っている端末とは違う。そう、この図書館の利用者用端末の半分以上は、各キーも大きく、配列も五十音順、しかも操作は赤、青等色のキーを押すことによって行うという簡易検索になっているのです。普通の端末に不慣れな人でもこれは十分に使えるくらい簡単であるし、利用者用のカード目録が無い今では、これが強い味方であろう。各階併せて16台の利用者用端末があるが（内簡易検索用9台）、どれもいつも利用されていた。

続いてこの図書館のもう一つの目玉とも言えるAV・マイクロ室へ。エントランスホールとは大きなガラスで仕切られ、また違った雰囲気であるが、皆ヘッドホンをしてくつろいだり、画面を見たりとなかなか楽しそうである。入口にはAV室案内用のモニター画面があり、利用案内や、個人で利用するAVブースコーナーや、2、3人のグループで利用するビデオブースコーナー（一見カラオケBOXの様である）の待ち時間が表示される。中央には3台のモニターを囲んで9人分のソファがあり、ここでは図書館が用意した多人数AVコーナーになっている。また入口横には、3チャンネルで図書館が用意した音楽を聞くフリーリスニングコーナーもあり、ここで皆、申し込んでおいたビデオ等の順番を待ったりこれから申し込むため目録冊子を見ている。利用は原則として一人一日一本であるが、夏休みとあってビデオブースコーナーもAVブースコーナーも30分以上は待たなければならない状態であった。しかし、音響資料がCD・カセットで約7700点、映像資料がビデオ・LDで約2300点と映画、漫画、クラシック、歌謡曲何でもあり、街のレンタルショップ並みに充実していて、なかなか楽しめそうである。ただし裏で機器を扱う人は手を休める暇もないくらい忙しそうであった。

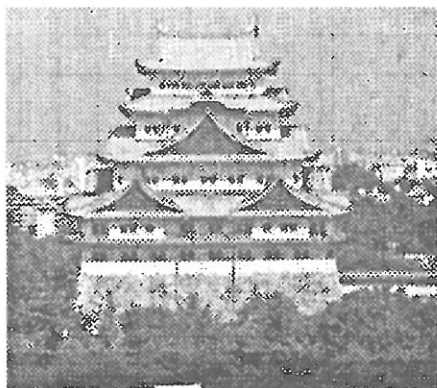
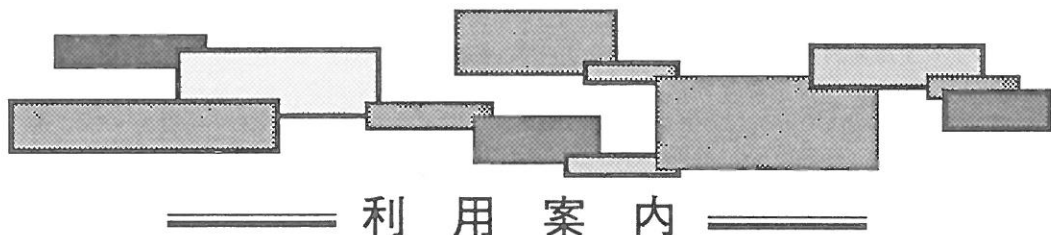


この他にも2階の雑誌コーナ（なにげなく月刊明星が並んでいる）や、3階・人文社会科学等、4階・自然科学等には、以前の県立図書館とは違い、蔵書数70万冊の大半が開架棚に並び、実際手に取って見ることが出来る。また貸出カウンターも各階にあり便利である。公共の図書館ということで資料も一般的な物から、やはり愛知県の中心となる図書館と言うことで、各市町村図書館への貸出しや、BMによる移動図書室の運行、全国の電話帳や各地方版の新聞の原紙、郷土資料などもある。また、愛知県の国連資料収集館にもなっている。そして、視覚障害者資料室を持つこの図書館では、視覚障害者のため、点字図書、録音図書の貸出し、録音図書作成、ボランティアによる対面朗読サービスを、身体障害者には郵送による貸出しを行っている。

限られた時間に1階を中心に見て回った図書館。とてもではないが全部をくまなく見ることが出来ないけれども、最後に利用についてひとこと、『県内在住、在勤（在学）者及び、隣接県の住民を対象』となっていて、全国でも県外の利用者を対象にするのは初めてというくらい、この図書館に来た人は誰でも一人3冊15日以内で本を借りることが出来る。利用証も、住所確認ができる身分証明書があればその場で即発行、3年間有効なので早速作ってみて下さい。

以前の県立図書館のイメージをすっかり拭い去ったこの新しい図書館、勉学に、趣味に、遊びにどんどん利用してみてください。そして重要文化財の名古屋城外堀あとを見ながらブラウジングで新聞でもどうぞ。

（閲覧係・石井知好、整理係・喜多島晶子）



開館時間

火曜日・金曜日 AM10:00-PM8:00
土曜日・日曜日 AM10:00-PM6:00

休館日

月曜日・祝日・毎月第3火曜日
年末年始(12月28日～1月4日)

交通

地下鉄 鶴舞線または桜通線「丸の内」下車
8番出口から徒歩5分
市バス 「景雲橋」下車 徒歩3分
駐車場 30台

愛知芸術文化センター 愛知県図書館

AICHI PREFECTURAL LIBRARY

〒460 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

Tel 052-212-2323

《GEMMA便利帳》

悩んでいるあなたのための 「ワード入力法」 続きの巻

前回は、和書の入力の仕方を説明しましたので、今回は洋書について説明します。
ある特定の本を探すのではなく、ある主題に関係する本を探す時、ワード検索は威力を発揮します。また特定の本を探す時でも、書名が長ければ書名検索よりもワード検索をした方が効率良く探すことができます。

GEMMA ----- < 目録検索 > ----- 91/05/22
16:04:07

ワード : ワードはここだッ! -----

★ワード間 : AND, OR, NOT, ()

洋タイトル : ----- (4.3.2.2)

和タイトル : ----- (全角でブランクはつめて検索)

ワードの入力のしかた (洋図書・洋雑誌)

単語あるいは複数の単語を大文字で入力します。複数の単語を入力する場合、間に「AND」をつけるか、「ブランク」にするかで、検索結果が違ってきますので、注意が必要です。

例えば、**AMERICAN** と **ECONOMIC** の2つの単語で検索を行う場合、
[AMERICAN AND ECONOMIC] と [AMERICAN ECONOMIC] とではどう違うのでしょうか。

「AMERICAN AND ECONOMIC」の場合				「AMERICAN ECONOMIC」の場合			
AQUARIUS - SEARCH MODE				AQUARIUS - SEARCH MODE			
00001 AMERICAN AND ECONOMIC				00001 AMERICAN ECONOMIC			
AMERICAN	6642	OCCURRENCES	3000 DOCUMENTS	AMERICAN	6642	OCCURRENCES	3000 DOCUMENTS
ECONOMIC	4191	OCCURRENCES	1910 DOCUMENTS	ECONOMIC	4191	OCCURRENCES	1910 DOCUMENTS
RESULT(EXTENDED)	481	OCCURRENCES	131 DOCUMENTS	RESULT(EXTENDED)	66	OCCURRENCES	57 DOCUMENTS

この結果の違いに注目!

ANDの場合は、2つの単語の順番や位置はまったく関係ありません。ところがブランクの場合は、2つの単語がその順番で隣り合って並んでいる必要があります。つまり書名中にECONOMIC、シリーズ中にAMERICANという単語がある場合、ANDならヒットしますが、ブランクならヒットしないということです。

☆単語の間をブランクでつなぐ場合は必ず**スペース**キーで! **→**キーは使わない!

... まだまだ奥は深い ...

GEMMAデータベース現況				1991.8.31現在	
				(単位: 書誌レコード数)	
種別	図書		雑誌		
内訳	洋図書	和図書	洋雑誌	和雑誌	
	65, 435	70, 667	4, 824	6, 231	
合計	136, 102		11, 060		

(システム係・三谷靖司)

<<USER'S VOICE>>

私の図書館の利用の仕方

経済学部 87E174 水野秀一

図書館の様相から、気がかりになる日本人的な特色が目につく。例えば、よくGEMMAの検索に困りすぐ諦めて逃げるように去っていく人を見かける。しばらくすると、その友達が手助けに来るなんてものもある。おそらく、テストとかレポートのために初めて使う新一年生か、テスト前以外あまり使わない人であろう。確かに、私も久しぶりのときはすっかり忘れてしまっていたこともある。しかし、なぜもっと気軽に近くの人に尋ねることをしないのだろうか。

私は、困ったときは、ためらわずに人に尋ねることにしている。図書館員だけでなく、近くにいる人にも。いや、むしろ、近くの人に尋ねることにしている。確かに、図書館員に尋ねれば、早くて確実である。しかし近くにいる人からは、意外な情報を手に入れられることがあるから。例えば、本棚の前で目当ての本が見つからないとき、その近くで同じようにさがしている人に尋ねたりすると、案外まったく同じ内容のことを調べていたり、以前同じ内容のことを勉強した人だったり。たとえばアドバイスは得られなかったとしても、他のことについて情報交換できる可能性も少なくない。図書館員とか近くの人に拘わらず、尋ねることで、例えばGEMMAに打ち込む適切なキーワードが自分で見つけれないとき、相手から思いも付かなかったキーワードを得たり。また相手に説明している間に、尋ねることで、案外得することが少なくない。

確かに、近くの人に尋ねてみても相手が答えられないことも多い。それでお互少し気まずくなるかもしれない。そんな時、「とにかく、どうもありがとう。一度、図書館の人に聞いてみるよ。」などと、お礼を言って、後で図書館の人に尋ねればいいのでは。困ったら人に聞くしかないと思う。もっと気軽に尋ねてみては。



図書館について思うこと

経営学部 91B009 陳 倍

二ヵ月前、留学生として南山大学の図書館はどう思うか、ということをお話を頼まれました。私は、南山大学で勉強している留学生たちに聞きました。

皆さんは南山大学の図書館をよく利用して評価が高いです。図書館には、いろいろな和洋の書籍や雑誌類が収蔵されていて充実していると思います。検索するシステムもいくつかあり、カード目録、オンライン目録によって欲しい資料を検索して貸出してもらえます。また、たとえその資料がなかったとしても、レファレンスに行けば他の大学図書館、公共図書館とのネットワークによって欲しい資料が入手することは容易なのでこういった検索のシステムを上手に活用すると、とても便利だと思います。今年から私はレポートを書くために、日経テレコンを使って新聞記事検索をよく利用します。それは、あるテーマに新聞の記事を探すのは、とても役に立つと思います。

私は南山大学の図書館とよくつき合います。それは、自分の学習に適切な書籍と情報があるだけでなく、図書館員たちがわからないことを親切に教えてくれるし、また快適な環境を与えてくれるからです。夏はクーラーがきいているし、冬はうたた寝をしても、風邪をひかない程度に暖かいです。しかも気分転換のための雑誌まで各種そろえてあります。とても魅力のある図書館だと思います。

ところが時々図書館の閲覧室は、勉強しやすいところではありません。ある利用者が黙々と勉強している人を気にせず大声で話しています。特に女性の場合が多いです。私の国では、その時々で図書館の管理員が出てきて、その人に警告します。南山大学の図書館はそうして欲しいです。例えば閲覧室を見回って、大きい声で話している人たちに、他人に迷惑をかけないように注意をすれば、二、三回くらい警告される人は、図書館で静かにするというのをよく覚えて、この悪い習慣がなくなるのではないかと思います。現代化の図書館、文明の読者になるように期待しております。

アウシュビッツ展

平和を、人間の尊厳を、求めて

「アウシュヴィツ展」に寄せて

家本 博一
(社会倫理研究所助教授)

第二次大戦期、ナチス・ドイツが現在のポーランド領に建設した強制収容所だけを見ても、その数は70数カ所に上る。これに、捕虜収容所、「ゲットー」、労働キャンプなどを加えると、その数は1200カ所に達する。また、収容者の「処理」(ルドルフ・ヘス)を組織的に行った絶滅収容所は、アウシュヴィツ(オシフィエンチム)、ビルケナウ(ブジェジンガ)、マイダネク(マイダンク)、ルーヂ(ウツェ)など9カ所を数える(ドイツ名とポーランド名)。最近の推計では、絶滅収容所での犠牲者は約180万人で、これを加えて、第二次大戦期のそれは、総計で約600万人と言われている(ソ連による犠牲者約90万人を含む)。

強制収容所の中では、アウシュヴィツ収容所が最も有名であるが、これは、犠牲者の多さもさることながら、この収容所が、収容者の「処理」、物資生産、生体実験(投薬実験、臓器移植実験、人種交配実験)など様々な機能を備えたナチス・ドイツ最大の「工場」であったからである。また、カトリック世界では、この収容所は、マクシミリアノ・コルベ司祭がイタリア人青年の身代わりとなって薬殺され、「隣人への愛」に殉じた場所として有名である。最大時34カ国、約8万人に上る収容者がそこで「体験」した出来事は、戦争の悲劇として理解するには余りにも愚かな行為として、現在も多くの人々に語り継がれている。

1984年8月にポーランドを訪れた折、私は、国防省戦争補償局の好意によって、アウシュヴィツ、ビルケナウ、マイダネク、ウツェの4カ所でナチス親衛隊が撮影した収容所現場の映画(大半がトーキー)と写真を見る機会に恵まれた(拙稿「ポーランドでの『出会い』」『ポーランド月報』1984年11月号を参照)。アウシュヴィツ、ビルケナウ、マイダネクの3カ所では、4種の「処理」方法(絞首刑、銃殺刑、ガス刑、餓死刑)、武器・弾薬の生産、処刑者の毛髪、金歯、メガネ、義足の再利用(再生)、各種の人体実験などが次々と展開される映画と写真を見た。また、ウツェでは、ここがポーランド唯一の子供だけの収容所であったため、前3カ所とは異なる悲劇を見ることとなった。約20枚の写真には、子供の収容者を細長い二階建のブロックに詰め込んだまま、外から火炎放射器で焼き殺し、熱さを逃れて窓から飛び降りる者へは容赦なく機関銃の雨が降るという場面が記録されていた。

現在、絶滅収容所は、いずれも国立博物館として保存されているが、そこに足を踏み入れた時に感じる「息苦しさ」は、私たちに人間の愚行という言葉では片付けられない戦争の罪悪性を伝えているのではなからうか。また、「処理」する者と「処理」される者のいずれもが、現場で笑すら浮かべている場面とは、どのように理解すればよいのであろうか。そして、「工場」の効率的な運営に努めた者たちが、戦争の中でその行為をどのように正当化していたのであろうか。――私たちは、アウシュヴィツ収容所での出来事からだけでも、多くの教訓を得ることができる。



(「アウシュビッツ収容所」写真ドキュメント)

グリーンピース出版会)

1991年10月28日－11月9日 図書館1F会議室にて開催！

◆写真パネル展示 「絶滅アウシュビッツ全記録」

◆ビデオ放映

- ・ナチスの行動と思想—アウシュビッツを生んだもの
- ・絶滅収容所 — アウシュビッツ・ビルケナウ
- ・証言 — 奇蹟の生還者たち
- ・アンネ・フランク — 日記が語りかけるもの

◆関連図書展示

◆コルベ神父コーナー

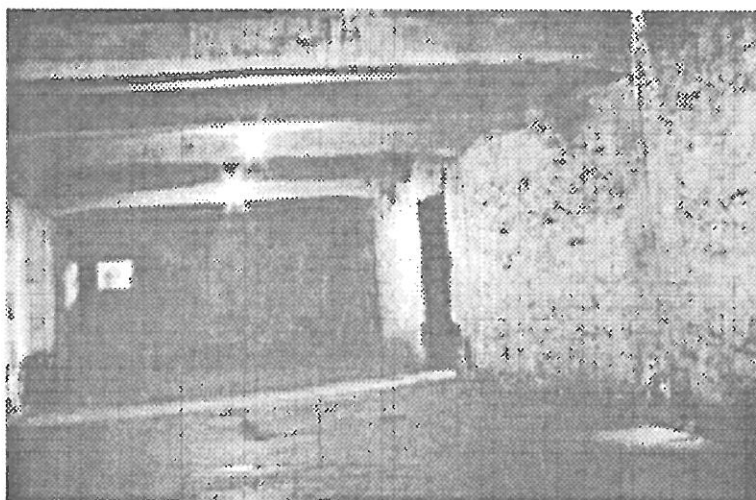


ガス室へ向かう子供達

(「アウシュビッツ収容所：写真ドキュメント」グリーンピース出版会)

ガス室

強制労働に耐えられない老人、女性、子供、病人は全裸にされシャワー室＝ガス室へ送られた。そこに一度に2,000人が詰め込まれ、天井の窓からはチクロンBという猛毒ガスが注入され、10～20分で全員窒息して死んだ。死体からは、金歯が抜かれ、毛髪を切られ火葬場へ運ばれた。「アウシュビッツからの出口はない。あるとすればただ一つ死体焼却炉の煙突である。」



(「アウシュビッツ収容所：写真ドキュメント」グリーンピース出版会)

世界情勢が大きく変動している今日、全人類の精神的協調のもとでの世界平和が叫ばれ、求められている。今回のアウシュビッツ展開催にあたり、今世紀の人類史上最も恥すべき戦争による悲惨の一端を見ることにより、本学園の建学の理念である「人間の尊厳のために」を改めて考えてみたい。

世界で最も民主的といわれたワイマール憲法を持つドイツ共和国の崩壊、ヒトラー・ナチスの台頭はファシズムと戦争の血ぬられた歴史であった。ユダヤ人、反ナチスに対する迫害、ユダヤ民族そのものの絶滅を目論むジェノサイドは、アウシュビッツに代表される絶滅収容所でおこなわれた。アウシュビッツ・ビルケナウだけでも400万人の人々が死んだと推定される。(なんと名古屋市の人口の2倍近い数である。)

死者の脂肪で石鹸を、毛髪でカーペットや衣類を、皮膚ではランプシェードやハンドバックを作ったという蛮行の数々…。

収容所内で死をかけて写真に絵に記録を残した犠牲者のメッセージを我々は受け取らねばならない。

《資料紹介》

National Reporter System を使いこなす その1

アメリカ法を研究するには、適用すべき先例を探すことが基本的なことであり、判例法主義をとるアメリカの場合、判例集は重要な地位を占めている。

連邦制をとるアメリカでは、当然ながら判例集にも連邦裁判所のものと州裁判所のものとがあり、またそのなかで、連邦または州の議会の法律に基づいて刊行されている公式なもの(official reports)と、そうでなく営利会社によって刊行されている私的なもの(unofficial reports)とに分かれている。連邦の判例集のなかで official reports としては United States Supreme Court Reports[U.S.Reports]が挙げられるが、今回は unofficial reports の中心的存在で、アメリカ法についての

判例を包括的に集めた National Reporter System を紹介しよう。これは次のような種類に分かれており、これら各シリーズの内容等を表にまとめたので参照していただきたい。また、地図を見ればこれら判例集のカバーする地域が全米に渡っていること、どの州がどのシリーズに入っているかもわかるだろう。

判例集名	略号	収録内容	収録期間	所蔵館	請求番号
(1) Atlantic Reporter	Atl., A.	全国を7つのブロックに分け、各ブロックに属する各州の最高裁判所の判決。	1885-	1938-	R/320.053/3-9
Pacific Reporter	Pac., P.		1883-	1931-	R/320.053/3-13
North Eastern Reporter	N.E.		1885-	1936-	R/320.053/3-11
South Eastern Reporter	S.E.		1887-	1939-	R/320.053/3-14
North Western Reporter	N.W.		1879-	1942-	R/320.053/3-12
South Western Reporter	S.W.		1886-	1928-	R/320.053/3-15
Southern Reporter	So.		1887-	1941-	R/320.053/3-16
(2) New York Supplement	N.Y.Supp.	ニューヨーク州の下級審の判決。 N.E.のほかニューヨーク州の最高裁判所の判決。	1887-	1938-	R/320.053/3-10-A
(3) California Reporter	Cal.Rptr.	Pac.には少ししか取られず、1971年7月の最高裁判所、控訴裁判所、地方裁判所の判決	1960-	1960-	R/320.053/3-7
(4) Supreme Court Reporter	S.Ct.	連邦最高裁判所の全判決。	1882-	1882-	R/320.053/3-4
(5) Federal Reporter	Fed., F.	連邦最高裁判所組織中の中間上訴裁判所の判決。	1880-	1924-	R/320.053/3-2
(6) Federal Supplement	F.Supp.	連邦法についての訴訟事件を扱う第一審裁判所である連邦地方裁判所の全判決。	1932-	1932-	R/320.053/3-2-A

(所在:B2書庫)

National Reporter Systemはこのように、

- ①50州を7つのブロックに分け、それぞれの地域内の各州の最高裁判所の判例中主要なものを集めたもの。(1)
- ②特に重要な州、訴訟事件の最も多い2つの州の(下級審の判決を含め)重要な判例を集めたもの。(2)[3]
- ③連邦関係の判例集。(4)[5][6]

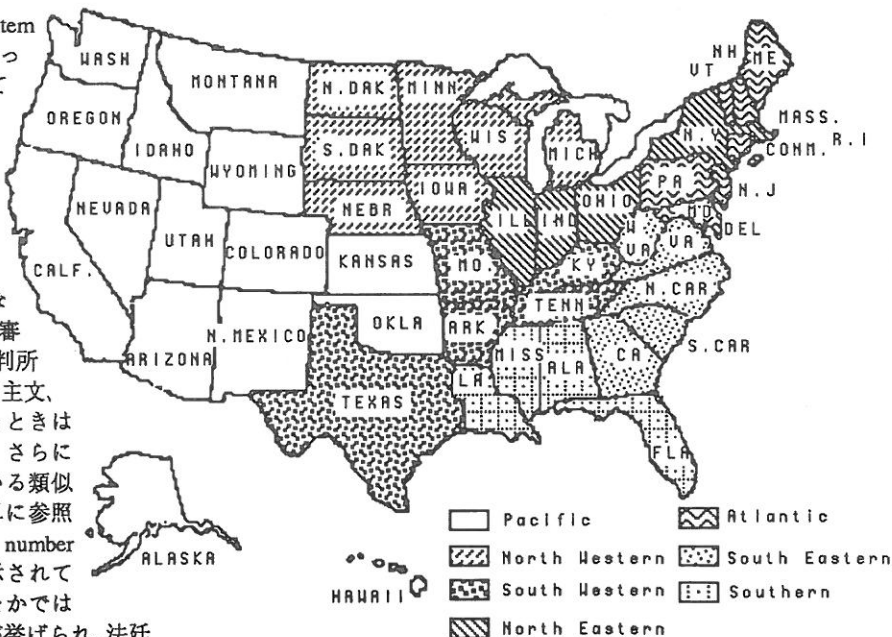
から構成されている。

National Reporter Systemの内容は、判例集によって違うが、大体において次のような形をとっている。まず最初に事件名が表示され、次に事件番号、判決の年月日がある。そしてその次に事件の要旨があげられている。このなかで事件の骨子と下級審の判決、および当該裁判所の判決の理由の要旨と主文、それに少数意見があるときはその旨の記載がある。さらに他の判例に含まれている類似の法律上の論点を簡単に参照することができる key number という分類番号が表示されている。そして本文のなかでは双方の弁護士の名前が挙げられ、法廷意見、反対意見等が続いている。

National Reporter Systemを使用することによって、裁判所が過去に下した判決を容易に、効率よく検索することができるのである。

尚、次号でNational Reporter Systemの具体的な使い方について説明をする予定なので、乞うご期待!!!

(参考係・後藤眞貴子)



《外部データベース紹介》

DIALOG

図書館で利用できるデータベースをいくつか紹介してきましたが今回ははじめて海外のデータベースを取り上げます。

? 「DIALOG (ダイアログ)」ってなんだろう?

DIALOGは米国カリフォルニア州に本社をおく Dialog Information Service社が提供するデータベースサービスです。300以上のファイル(DIALOGではデータベースのことをファイルと呼ぶ)に収録された1億5000万以上のレコード(データベースにふくまれている情報の単位)があつめられており、単独では世界最大のデータベースといえます。ビジネス、科学、テクノロジーを広範囲にカバーします。更に、社会科学と人文科学のデータベースも含まれているので、たった1つのDIALOGから幅広い領域にわたる世界中の情報が得られるというわけです。

? 何に利用できるんだろう?

雑誌や新聞の記事はもちろんのことピッタリの参考文献や書評、企業情報など論文作成のための資料収集には、かなり役立つはずです。

では、DIALOGのデータベースを具体的に説明しましょう。

*** データベースの種類 ***

2種類に大別されます。

1. 情報そのもの……全文(フルテキスト)データベース(1次情報ともいいます)

情報の全文がそのまま、コンピュータに収められ、画面上で読みだせるものです。

ニュース・新聞記事、辞典・事典類のデータベースのほとんどはこの形式です。GMのバランスシートは? といった個々の会社の財務データなど知りたい数値がひきだせるデータベースやアメリカ中心の情報ではありませんが人や会社などに関する事柄や所在がわかるディレクトリデータベースなどもあります。

2. 情報をもとにつくった2次的なもの……文献(リファレンス)データベース(2次情報ともいいます)

文献の情報からINDEXにあたる部分(書誌事項)を抜き出してオリジナルの情報を入手するのに必要な項目が記載されています。ものによっては抄録(Abstract)から概要をつかむこともできます。文献、図書、特許などの情報が検索しやすいように加工されています。

*** データベースの内容 ***

300以上のデータベースの中から資料収集に役立つようなものをほんの一部分だけ拾い上げてみました。

データベース名	対象分野	収録期間
GPO MONTHLY CATALOG	米国政府刊行物	1976-
STANDARD & POOR'S NEWS	米国会社財務情報	1979-
MOODY'S CORPORATE NEWS - INTERNATIONAL	世界会社財務情報	1983-
ECONOMIC LITERATURE INDEX	経済、経営	1969-
MAGAZINE INDEX	雑誌記事索引	1959-
NEWSPAPER ABSTRACTS	新聞記事索引	1986-
ERIC	教育全般	1966-
LEGAL RESOURCE INDEX	法律、判例、法学	1980-
SOCIAL SCISEARCH	社会科学全般引用文献	1972-
AMERICA: HISTORY AND LIFE	北米の歴史、文化	1964-
MLA BIBLIOGRAPHY	語学、文学、民俗学	1963-
PsycINFO	心理学	1967-

*** データベース使用料金 ***

これが一番気になるところかと思いますが、実は非常に高くつきます。というのも接続料/分のほか出力形式にもよりますがオンラインプリント料/件やオンラインタイプ料/件が加算されてゆきます。接続を終了した段階で料金が画面にドル立てで明示されますので、それを実勢レートで換算して負担頂くことになります。実際には使用するデータベースによって接続料金が異なりますのであくまで目安として下記の表を参考にして下さい。

分野	検索テーマ	検索に用いたDBの種類	入手できた文献数	検索時間(分)	検索費用(円)
化学	Penicillin Aの製造に関する研究	3	3	5	1,853
物理	有機超電導体に関するすべての研究	3	533	10	46,868
医学	リウマチとステロイド剤との関係	2	890	4	55,382
工学	光ファイバーを利用したコンピュータネットワークについて	1	408	2	29,588
特許	中華人民共和国で公開されたIBMの特許	1	35	1	2,378
学位論文	ブラジルの労務関係について書かれた学位論文	1	6	3	1,015
引用文献	1950年代の福井謙一氏の論文を引用した最近の文献	1	90	1	6,600
新聞	ワシントンポスト紙に載った牛肉・オレンジ問題	1	3	1	283

昭和63年6月現在

データベースさえあればすべて事足りるというものではありませんが、せっかく利用できるのですからぜひ有効に利用していただきたいと思います。

(参考係・山辺美津香)

参考資料

- ・DIALOGシステムセミナーテキスト
- ・INFOCUEマニュアル他

《伝言板》

書庫入庫のお知らせ

3年生、4年生の皆さんで、まだ書庫を利用したことのない人のために、書庫の閲覧手続きについて簡単におさらいしてみます

書庫閲覧できる日時

水曜日 13:00～16:30
土曜日 9:00～11:30

書庫閲覧の手続き

上記時間内に閲覧カウンターに来てください。
4年生は学生証を提出するだけで書庫閲覧できます。
3年生は学生証の他に、入庫許可書が必要です。
※入庫許可書の発行については
閲覧カウンターでお尋ね下さい。

《ライブラリアンズ・ハート》

図書館員として思うこと

最近、利用者の間で全面開架を望む声がよく聞かれます。しかし、南山大学図書館でも、全面開架をしていた時期があったのを知っている人は、今では殆どいないでしょう。

南山大学が五軒家町から現在の地に移った昭和39年から、図書館はかなりの間、20数万冊の蔵書が雑誌も含め全て開架でした。それが何故一部を開架にし、他を従来の閉架システムに戻したかは、収蔵スペースの問題もさることながら、棚の乱れが著しく、利用がスムーズに行かなくなった点にあります。毎日の配架や棚の乱れを直すのに、殆どの図書館員が半日、又はそれ以上の時間を費やすことが数でした。こう言った状態では業務を遂行して行くことは不可能ですので、残念ながら現在のシステムに切替えざるを得なかった訳です。

現在でも、棚の乱れは依然として続いております。これを直し、少しでも利用し易くする為に、われわれ図書館員は毎日午前と午後の2回、配架や棚の乱れを直しております。仮りに、或る利用者が棚から抜き出した図書を、面倒だし、自分一人位良いだろうと思い、棚の端に置いて立ち去ったとします。もうこの図書は何日、或いは何ヶ月、何年先にしか元の位置に戻らないでしょう。そして、結果的には不明、利用不可能と言うことになってしまうのです。利用者の一人々々がこう思っていたら、その数は相当なものになります。これを防ぎ、自分の見たい図書を何時でも見られる状態に保つには、利用者の皆さん一人々々の協力なしでは不可能です。棚から抜き出した図書は自分で元に戻さず、面倒でも必ず近くの返本台に置くよう習慣付けて下さい。他の利用者の為にも、又の日の自分の為にも。これなしでは、残念ながら全面開架と言うことは将来も望めないでしょう。

(整理係・内藤 英明)



「図書館——コツをつかんでもっと面白く」

参考カウンターをご存知ですか？ 貸出・返却の閲覧カウンターはよく利用されていると思いますが、参考カウンターというと、「それって何するところ？」と思われる人も多いのではないのでしょうか。

参考カウンターでは、皆さんが図書館の資料を上手に利用できるようアドバイスしたり、南山の図書館にはないけれどもどうしても見たい資料があるという方のために他大学から借りたり、文献複写を依頼したり、紹介状を発行するサービスを行っています。

私は、その参考係に7月に配属されました。今まで図書の受入れ、支払い、整理業務など管理部門を担当してきましたが、サービス部門は初めての経験です。そこで気になるのは、皆さんは図書館をうまく使いこなしてくれているのかな、ということです。

思うに、図書館に山とある本を自分の研究テーマと結びつけて上手に利用できる人は少ないようです。かくいう私も、学生の時は、『ユリイカ』の過去のものを全部出納してもらって、目次をいちいち見ながら文献をリストアップしたりしたものです。『雑誌記事索引』（請求番号：R/020/Z1, R/020/219）という便利なものがあることを知っていれば、そんな無駄なことをしなくて済んだのにね。図書館って、コツさえわかれば自分の欲しいものに合理的にたどり着ける面白い所なんですよ。その面白さを知らずして大学を卒業してしまっただけではいけません。

そのために、まず①このデユナミスを読む②GEMMA利用法をマスターする③先生や友人から情報を集める④たまには図書館学関係の書物をひもといてみる、などしてみましょ。そしてもちろん、参考カウンターもお手伝いしますよ。初心者大歓迎。図書館員だってわからないことが沢山あります。どんな質問がやって来るかドキドキしています。こんなこと聞いたらバカにされないかしら、なんて思わず、気軽に声をかけてみて下さい。もしかしたらその一言であなたの人生が変わるかもしれませんよ。

(参考係・藤田 三保)

ライブラリーカレンダー

1991.10 ~ 1991.12

10 月					11 月					12 月				
9:00	3:30	6:30			9:00	3:30	6:30			9:00	3:30	6:30		
0:00	4:30	文	G	書	0:00	4:30	文	G	書	0:00	4:30	文	G	書
1(火)					1(金)					1(日)				
2(水)				★	2(土)				★	2(月)				
3(木)					3(日)		文化の日			3(火)				
4(金)					4(月)		振替休日			4(水)			★	★
5(土)				★	5(火)					5(木)				
6(日)					6(水)				★	6(金)				
7(月)					7(木)					7(土)				★
8(火)					8(金)					8(日)				
9(水)				★	9(土)				★	9(月)				
10(木)		体育の日			10(日)					10(火)				
11(金)					11(月)					11(水)			★	★
12(土)				★	12(火)					12(木)				
13(日)					13(水)				★	13(金)				
14(月)					14(木)					14(土)				★
15(火)					15(金)					15(日)				
16(水)				★	16(土)				★	16(月)				
17(木)					17(日)					17(火)				
18(金)					18(月)					18(水)			★	★
19(土)				★	19(火)					19(木)				
20(日)					20(水)				★	20(金)		4:00		
21(月)					21(木)					21(土)				★
22(火)					22(金)					22(日)				
23(水)				★	23(土)		勤労感謝の日			23(月)		天皇誕生日		
24(木)					24(日)					24(火)				
25(金)					25(月)					25(水)				
26(土)				★	26(火)					26(木)				
27(日)					27(水)				★	27(金)				
28(月)					28(木)					28(土)				
29(火)					29(金)					29(日)				
30(水)				★	30(土)				★	30(月)				
31(木)										31(火)				

：開館時間

G:GEMMA講習会 文:文献探索講習会

書:3・4年次生書庫入庫日(水曜pm 1:00~4:30, 土曜am 9:00~11:30)

《編集後記》

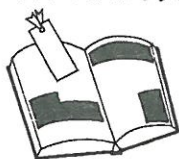
食欲の秋。運動の秋。恋愛の秋。そして読書の秋。
色んな意味での勉強を、図書館を片隅において!!

(C. I.)

激動する世界の真只中で、今こそ問われる真の
アカデミズムとは? 大学のraison d'êtreとは?

(A. K.)

(タイトル等: 平松富美)



南山大学図書館報 デュナミス No.11
1991.10.1.発行

南山大学図書館 広報委員会
編集委員:喜多島、石井、笹山
〒466 名古屋市昭和区山里町18
Tel. 052(832)3707
Fax(G3) 052(833)6986